

一人の首切りも許さない

# N関労山梨 2009.11.19 第7号

東日本NTT関連合同労働組合山梨支部

〒400-0123

山梨県甲斐市島上条1923-3

小田切 博 宅

電話 055-277-6161

発行責任者 古屋 二三男

編集責任者 小田切 博



去る10月30日、N関労山梨支部は第4回定期大会を開催しました。大会には、組合員をはじめN関労東本部、東京支部、山梨教育運動ユニオンなど多くの来賓と、N関労山梨を支援してくださるサポーターの方々が集まり盛大に開催されました。

大会では、初めてストライキに突入した09春闘をはじめ、団体交渉、組織拡大などの取り組みを総括し、組合員やNTTで働く労働者の労働条件を守るために会社に対して要求行動を強化すること、10春闘を全力で闘うことを確認しました。最後に、古屋委員長の団結がらばるうで盛大な大会の幕を閉じました。

## すべての行動を組織拡大へ N関労山梨支部第4回大会開かれる

**古屋委員長挨拶**

NTT職場では「戦後つ子」といわれた団塊の世代が続々と「退職」していき、もちろん契約社員として(週4日・5日)残る方もいます。退社してしまっても後補充はありませぬ。だから「仕事量は同じなのに、人が少なくなっている」という現実があります。会社は「人材派遣会社」から雇って

### 来賓あいさつ

**山梨教育運動ユニオン 佐野委員長**

93年に結成して17年になる。N関労のストライキに参加して労働者の誇りを感じた。独立組合は小さいながら頑張っている。これから横のつながりを大事にしていきたい。教育現場にも非正規雇用労働者が増えてきている。これらを問題にしている。N関労に刺激をされたい。

いるので「問題はな」という態度ですが、仕事や会社に対する「持ち」が違いますので、誰が考えても残っている社員への労働は重くなると思います。

本来ならこれらの労働条件の問題を労働組合が取り上げて解決していくのが当たり前なのですが、現実対応していませんので、社員の不満はたまっており、N関労は、「私たちの

**N関労東本部 奥山副委員長**

千葉支部、茨城支部の大会に続いて山梨支部の大会が開かれることを祝福したい。東京支部は今年で第7回大会を迎える。小さな組合でなにができるかと揶揄されるが、春闘アンケートは年々回収枚数が増えている。N関労以外の社員や非正規社員にも広がってきた。

保坂さんの介護のため15000筆を超え厚労省、

**経過報告と方針**

経過報告は小田切書記長が行いました。「09春闘は3月10日に

要求は職場のみんなの要求だ!」として闘ってきた。そこにN関労の存在意義があるのです。特に今年は、初めて「春闘ストライキ」を整然と立派に行いました。

昨年は「すべての取り組み(飲み会までも)を組織拡大につなげよう!」という方針を提起しましたが、今年もこの方針を大会確認として、「すべての行動を組織拡大へ!」を合言葉に行動していきます。

**メッセージ**

**N関労茨城支部**

妻の介護のために転職を要求し闘う保坂買さん

団体交渉を行ったが、回答は不誠実なものであり、12日に時限ストに突入した。サポーターと支援に甲府ビル前で集会を開くことができた。職場の仲間のがんばれという声に勇気づけられた。今後とも闘うN関労の看板を崩さず組織拡大に全力を挙げる。

そして来年度の方針として、10春闘を全力で闘う。合理化を許さない闘いを進める。組合員・サポーターを拡大し組織を強化するなどを確認しました。

役員は、古屋委員長、小田切書記長、宮坂特別執行委員を再任しました。

# 1時間年休は社員のためなの？

## 問題点を検証「5日間40回制限」でも、契約社員も時間給が取れるよ

### 導入対象

社員、シニアスタッフ、シニアエキスパート、アクティブスタッフ、プロフェッショナルコンサルタント、60歳超え契約社員（時間給制度のフルタイム勤務、ショートタイム勤務及び隔日勤務）臨時雇

会社（N T T東日本山梨）は、1時間を単位とした年休を来年4月から導入すると提案してきました。私たちが、左記要求書にもあるように、60歳超え契約社員の労働条件の改善を会社に対して再三要求してきましたが、一つとして誠意ある回答はありませんでした。会社の導入理由は、改正労働基準法に基づき、新たな時間単位の年次休暇を導入するということです。問題点は、1時間単位の取得回数を5日間（40回）と制限し、今まで取得回数に制限のなかった2時間年休を廃止するということです。

2時間年休は小さな子供を抱えた女性や介護休暇制度のない時代に働き続ける条件の向上のために勝ち取った制度です。今も、老親の介護や病院通いをしている組合員や、持病を持つ組合員にとつては取得制限のない2時間年休は働き続けるために必要になります。一方、今まで2時間年休が取れなかった（労働条件が差別されていた）契約社員や臨時雇用社員にとつては朗報となります。ぜひ、職場や家庭で話し合ってください。

### 要求書

1. 「成果・業績主義賃金」制度を廃止すること。
2. 「人事・給与制度の見直し」について、会社の考え方を明らかにすること。
3. 50歳退職・再雇用制度は大幅な賃下げであり認められない。直ちに廃止するとともにすべての社員に65歳までの雇用を保障すること。
4. 60歳超え契約社員について年次有給休暇を2時間単位の取得可能にすること。各種手当を社員と同じようにすること。特別休暇を有給とすること。食事補助制度を設けること。カフェテリアプラン人間ドック検診を社員と同様にすること。
5. 所内SO担当の今後の業務運営について会社の考え方を明らかにすること。  
「Bフレックス・ひかり電話開通工事」に伴う時間外労働及び休日労働が増加しているが、会社の考え方を明らかにすること。  
20年度末の退職者に対して後補充が不足している。適正な要員を配置すること。
6. 113故障受付業務の集約について具体的に説明すること。また、社員および派遣社員の集約後の処遇について明らかにすること。
7. 設備部の甲府ノコア・富士吉田エリアOS化について、実施以降の問題点を明らかにすること。
8. 所内SO担当のエアコンを更改すること。
9. 所内SO担当のカーペットを更改すること。
10. 所内SO担当（甲府ビル1階）の分煙対策を行うこと。

## 支部レクリエーション 北岳登山

朝6時30分広河原で登山の開始。上りルートは大樺沢を上り、途中雪渓の上を100mほど歩く。二俣の分岐点で右俣コースを登り始める。雨が激しく視界も悪く上り斜面もきつくなる。ただひたすらに足元に集中してはぐれないように一歩一歩足を踏み出す。小太郎尾根に出て肩の小屋をめざして尾根を歩き始めると、雨が雪に変わり下から吹き上げ風速20mの風に身体が吹き飛ばされそうになる。「さむい」一瞬大雪山の遭難事故が頭の隅をよぎる。どうにか肩の小屋に着。寒さで体が震えている。まだ15時。私たちは自分たちの場所を確保すると、パーボンウイスキー、米焼酎を取り出し体の中から温める。夕食後は満腹感と疲労とアルコールの

おかげで体をくっつけながら眠る。2時20分、「満天の星空だよ」という声、天の川もはつきり見え、南の山影の上に赤い三日月が浮かんでいた。その上には明けの明星が輝いている。これだけでも死ぬ思いをして登って来た甲斐があるというもんだ。4時40分日の出。南の山の稜線がしだいに赤く染まっていく。しばらくすると赤い太陽が顔を出す。「かわいい」日の出だ。



7時ととうとう北岳山頂、3193m、360度のパノラマ台は壮観だ。8時下山に向かう。つま先が痛くなる、豆はできる、膝が笑いだすなど下りをなめてはいけない。しかし、昨日とは打って変わって空は真っ青、上りのときには見るゆとりもなかった黄色や紫やブルーの小さな花を楽しみ、鶯の声を耳にしながら木漏れ日のこぼれる中を楽しみながら下る。下山しての芦安温泉は生き返ったような心持になる。北岳を踏破した体力をもって今後の組合活動の強化に邁進したいと思う。